



静岡ガスグループ統合報告書

SHIZUOKA GAS GROUP REPORT 2025

湧く想い、沸かせる未来。

湧く想い、沸かせる未来。
SHIZUOKA GAS
静岡ガスグループ

Who We Are

湧く想い、沸かせる未来。

静岡ガスグループは、
「わくわく」を創り続けます。
ふつふつと湧き出るあなたの想いは
私たちの新たな挑戦の原動力となります。
もっと快適に。
もっとクリーンに。
もっと豊かに。
ひとつひとつの想いをカタチにして、
みんなで未来を沸かせたい。

01

INTRODUCTION

02

TOP MESSAGE

03

SPECIAL FEATURE

04

HOW WE CREATE VALUE

05

OUR VISION

06

OUR STRATEGY

07

CORPORATE GOVERNANCE

01

Who We Are
グループ企業理念
静岡ガスグループの歴史とDNA
成長の軌跡
At a Glance
「初」へのチャレンジの歴史
編集方針
目次

≡ CONTENTS

グループ2030年ビジョン



2050年カーボンニュートラルビジョン



サステナビリティ



グループ企業理念

エネルギーを中心とした グループ総合力で、 豊かで持続可能な未来を 追い求めます

創業以来、変わらない「私たちが社会に存在する意義」。
それは、地域社会に貢献すること。

大きく進化する社会からの期待や要望に対して、
私たちが進化し続けながら、
エネルギーを中心としたグループ総合力で応えていきます。

多様性を活かしながら、知恵を絞り、技術を磨き、
同じ志をもつ仲間と力を合わせることで、
「豊かで持続可能な未来」を追い求めていきます。

01

INTRODUCTION

02

TOP MESSAGE

03

SPECIAL FEATURE

04

HOW WE CREATE VALUE

05

OUR VISION

06

OUR STRATEGY

07

CORPORATE GOVERNANCE

01

Who We Are

グループ企業理念

静岡ガスグループの歴史とDNA

成長の軌跡

At a Glance

「初」へのチャレンジの歴史

編集方針

目次

≡ CONTENTS

グループ2030年ビジョン



2050年カーボンニュートラルビジョン



サステナビリティ





静岡ガスグループの歴史とDNA

静岡ガスグループ(以下、当社グループ)は、静岡の地に豊かで文化的な暮らしをお届けしたい、との先人たちの熱い思いによって1910年に創立しました。

ガス灯で街路を照らすことから始まったガス事業は、家庭の快適な暮らしを支えるエネルギーとして、さらには都市エネルギーや工場の生産エネルギーへと利用分野を拡大し、この間、都市ガス原料も、石炭から石油、天然ガスへと変遷を遂げてきました。

また、社会や環境の変化を捉え、事業領域を拡大してきました。

こうした成長の過程において、私たちは幾多の苦難や難局に直面し、その時々々の場面において、全社一丸となって努力や挑戦を繰り返すことで、こうした難局を乗り越えてきました。

こうした歴史の中で、当社のDNAである「チャレンジング・スピリット」が培われてきました。

かつてない変化の激しい時代において当社グループは、先人たちから受け継いできたDNAを礎に、これからも発展を遂げてまいります。

1910

静岡ガス創立
(資本金50万円)



創業時、札の辻(現在の葵区泉服町)に灯されたガス灯

1973年に完成した静岡工場の高圧連続式プラント



原料を石炭系から石油系へと移行

1965

1996

LNGの輸入を開始
清水エル・エヌ・ジー袖師基地操業開始



清水エル・エヌ・ジー袖師基地1号タンク完成

13年をかけて、40万件以上のお客さまのガス機器調整を完了



天然ガスへの熱量変更作業を完了

2004

2015

初の海外事業展開としてタイでの卸発電事業に参画
浜松方面への高圧幹線「静岡幹線」全線供用開始



Eastern Power and Electric Company Limitedが運営する天然ガス焼き発電所

ガスエンジン発電設備を有する静岡ガス&パワー富士発電所



電力小売・発電事業に参入

2016

2022

カーボン・オフセット都市ガスの供給を開始



天然ガスの採掘から燃焼までに発生するCO₂を、カーボンクレジットで相殺

01

INTRODUCTION

02

TOP MESSAGE

03

SPECIAL FEATURE

04

HOW WE CREATE VALUE

05

OUR VISION

06

OUR STRATEGY

07

CORPORATE GOVERNANCE

01

Who We Are

グループ企業理念

静岡ガスグループの歴史とDNA

成長の軌跡

At a Glance

「初」へのチャレンジの歴史

編集方針

目次

CONTENTS

グループ2030年ビジョン



2050年カーボンニュートラルビジョン



サステナビリティ



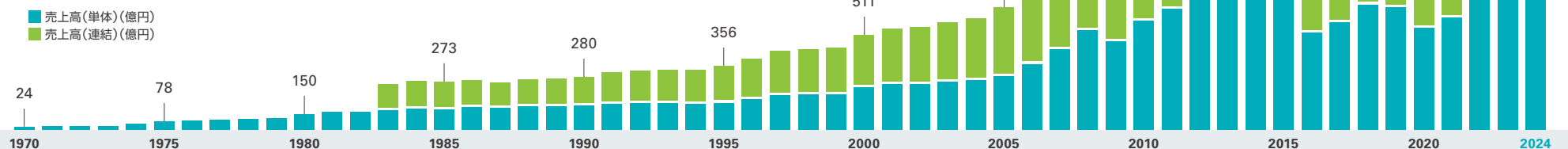
01

Who We Are
 グループ企業理念
 静岡ガスグループの歴史とDNA
 成長の軌跡
 At a Glance
 「初」へのチャレンジの歴史
 編集方針
 目次

≡ CONTENTS

成長の軌跡

当社グループの100年以上の歴史には、岐路となる数々の出来事がありました。大規模投資を行い計画した事業が石油ショックにより停滞したことや、ガス爆発事故のような重大な教訓は、明白に私たちの糧となっています。これらの経験とその克服を通じて培った挑戦する企業文化は、私たちに脈々と受け継がれています。



1970 逆境



富士市の工業用ガスプロジェクト 石油ショックによる暗転

水質汚濁、大気汚染が深刻な問題となっていた富士市で大気汚染防止対策として、工業用のお客さまに対するガス供給を進めるために、大規模な投資を行い富士地区への工業用のパイプラインを敷設しました。しかし、その最中に石油ショックが起こり、原料や建築資材が高騰し、パイプライン完成時に工業用ガスの供給先に予定していたお客さまは、ほぼゼロとなってしまいました。

1980 教訓



静岡駅前地下街爆発事故

1980年8月16日、お盆の「夜店市」から一夜明けた土曜日に静岡駅前の地下繁華街で発生したガス爆発事故は、15人の方がお亡くなりになり、223人の方が負傷されるという大惨事でした。この事故は、ビルの地下湧水槽にたまったメタンガスに着火したことにより発生した事故でしたが、この惨事は当社グループの保安意識、危機管理意識の徹底につながっています。

1990 克服



天然ガス導入に向け、 グループ全体で夢の実現へ

石炭や石油に比べ、CO₂や窒素酸化物などの発生量が少ないエネルギーである天然ガスは、1980年代に国の基幹エネルギーに位置づけられました。当社グループは数々の困難を克服しながら、1996年、大型LNG船も入港可能な水深を持つ袖師基地へ、初めて天然ガスを受け入れられました。富士地区で先行で敷設していた工業用のパイプラインも活用され、工業用需要を中心に都市ガスの販売量は大きく伸長しました。

2000 飛躍



天然ガスの需要拡大へ 広域供給体制の確立

天然ガスの需要が静岡県内外で増大し、また、災害発生時の供給安定性向上のために、日本海側や浜松方面へ天然ガスパイプラインを延伸し、天然ガスの広域ネットワーク化、広域供給体制を確立しました。これにより、当社グループ以外の卸供給先が増え、天然ガスのさらなる普及拡大と安定供給につながりました。

グループ2030年ビジョン



2050年カーボンニュートラルビジョン



サステナビリティ

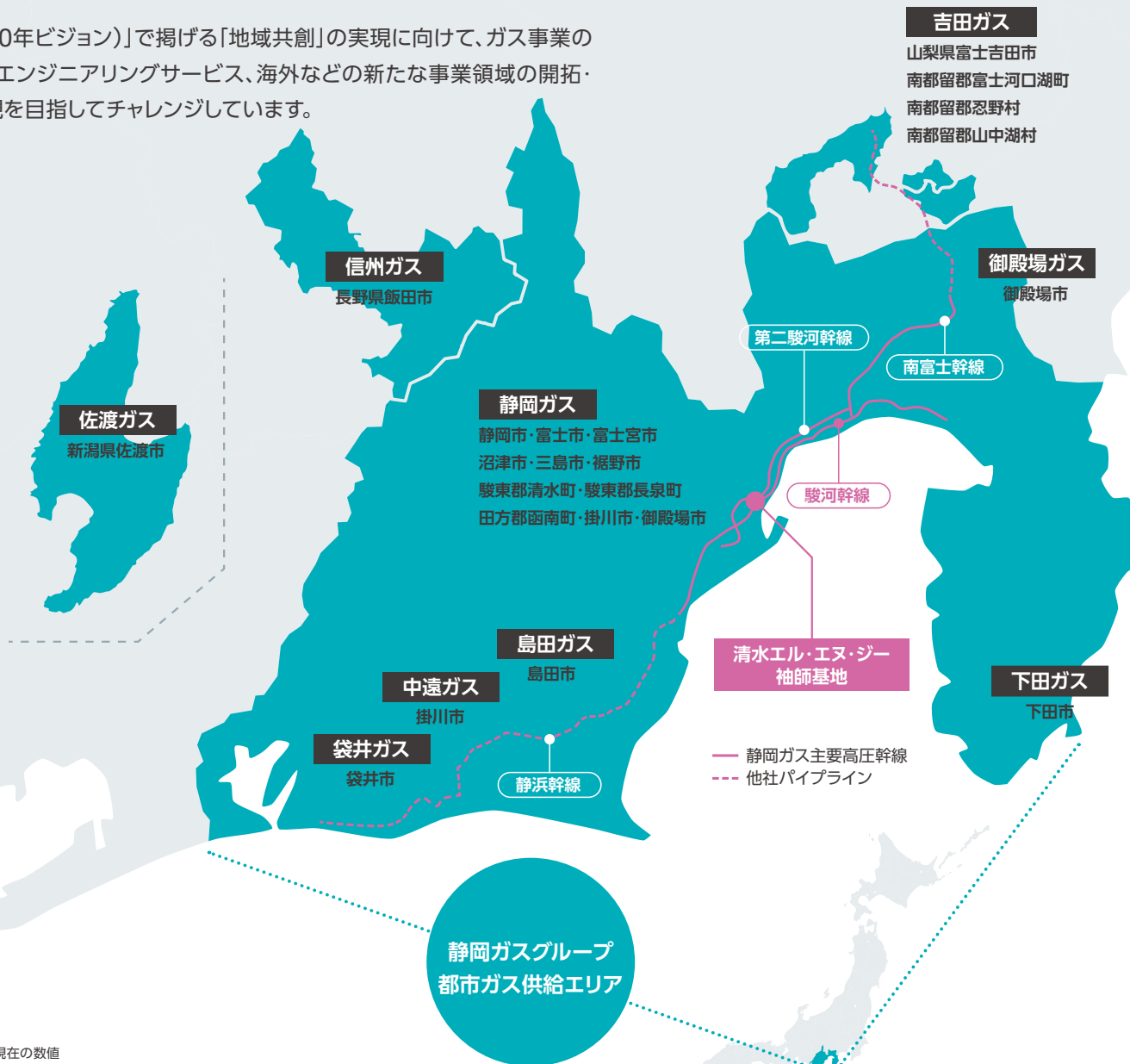


At a Glance

「静岡ガスグループ2030年ビジョン(以下、グループ2030年ビジョン)」で掲げる「地域共創」の実現に向けて、ガス事業の継続的成長とともに、電力・再生可能エネルギー、暮らし・エンジニアリングサービス、海外などの新たな事業領域の開拓・深耕によるさらなる成長と、豊かで持続可能な地域の実現を目指してチャレンジしています。

- 創立
1910年
- 都市ガス販売量
1,582百万m³※
- 都市ガス小売件数
32.6万件※
- LPG小売件数
8.2万件※
- 電力小売件数
9.7万件※
- 再エネ開発容量
3.4万Kw※
- 海外事業展開国数
6か国
 - アメリカ ● インド ● インドネシア
 - シンガポール ● タイ ● ベトナム
- 連結従業員数
1,466名※
- 売上高
2,022億円※
- 経常利益
130億円※

※2024年12月末現在の数値



01 INTRODUCTION
02 TOP MESSAGE
03 SPECIAL FEATURE
04 HOW WE CREATE VALUE
05 OUR VISION
06 OUR STRATEGY
07 CORPORATE GOVERNANCE

01

- Who We Are
- グループ企業理念
- 静岡ガスグループの歴史とDNA
- 成長の軌跡
- At a Glance
- 「初」へのチャレンジの歴史
- 編集方針
- 目次

≡ CONTENTS



01

Who We Are
グループ企業理念
静岡ガスグループの歴史とDNA
成長の軌跡
At a Glance
「初」へのチャレンジの歴史
編集方針
目次

≡ CONTENTS

グループ2030年ビジョン



2050年カーボンニュートラルビジョン



サステナビリティ



「初」へのチャレンジの歴史

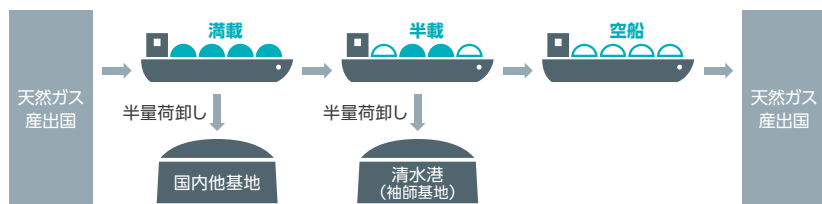
事業の拡大やカーボンニュートラル社会の実現に向け、前例のない取り組みにもチャレンジし、「世界初」「日本初」の取り組みを実現してきました。全社で挑戦を繰り返し、困難を乗り越える「チャレンジング・スピリット」は、未来における豊かで持続可能な地域の実現を目指すグループ社員一人ひとりに受け継がれています。

2港揚げ

1996年6月

LNG輸送上 世界初 LNGの2港揚げ

2港揚げとは、LNG船に満載してきたLNGを2つの港に分けて荷揚げすること。LNG船の受け入れを開始した当初、タンクの稼働率を高める目的で2港揚げを実施しました。石油の船は2港揚げという方法はあったものの、LNGは前例がありませんでしたが、海上保安本部等と安全運航や船体の保安面に係る交渉を経て、世界初となるLNGの2港揚げを行いました。

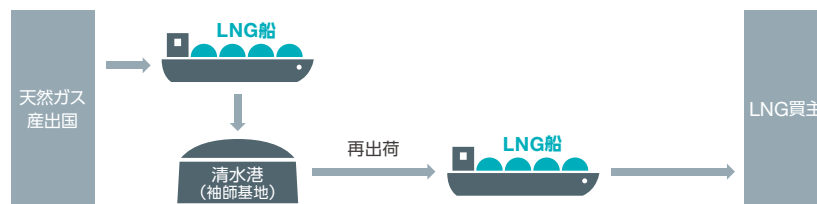


リロード設備を用いたLNG販売

2016年4月

日本2例目 LNGのリロード設備設置

世界で拡大するLNG取引の流動化を受けて、原料調達価格の低減を実現することを目的に、2016年4月、袖師基地で一旦貯槽に受け入れたLNGを再度LNG船向けに出荷するためのリロード設備を設置しました。2017年2月に袖師基地のリロード設備を用いたLNG販売を実施しました。

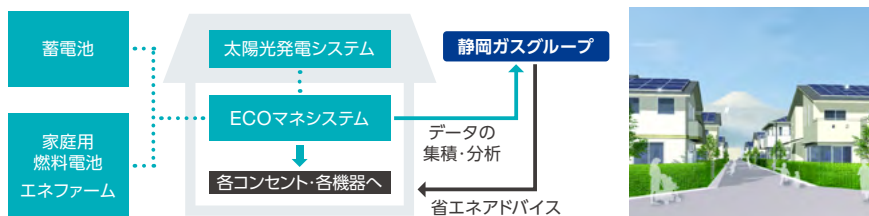


エコライフスクエア三島きよすみ

2011年3月

日本初 燃料電池・太陽電池・蓄電池の3電池が同時に設置される住宅の販売 家庭用分野でのCO₂排出権取引

当社創立100周年事業の一環として、低炭素社会の実現に向けた、低炭素型タウンの分譲地「エコライフスクエア三島きよすみ(22戸)」を、三島市に建設しました。各戸に家庭用燃料電池「エネファーム」、太陽電池を設置し、さらに一部の住宅に蓄電池を導入することによりエネルギーの“地産地消”モデルを構築しました。

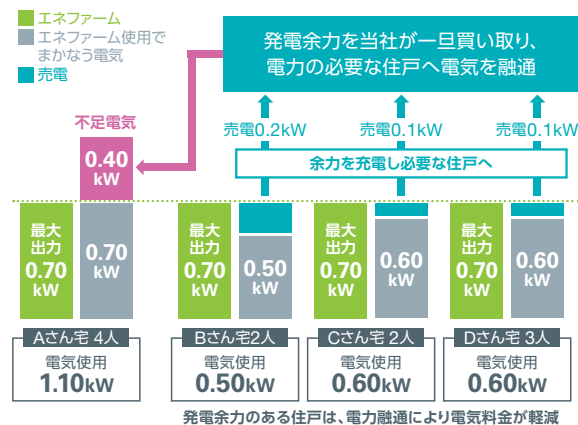


マンション内電力融通システム「T-グリッド」の開発・構築

2018年3月

日本初 「T-グリッドシステム」をシャリエ長泉グランマックスに導入

当社が東レ建設株式会社の協力のもと、パナソニック株式会社と共同で開発・構築した、高圧電力の一括受電とエネファームを組み合わせ、マンション内で電気の融通を行うことによりCO₂を30%削減するシステムです。一般的な電気とガスを使用するマンションに比べて21%の省エネを実現しました。



01

Who We Are
グループ企業理念
静岡ガスグループの歴史とDNA
成長の軌跡
At a Glance
「初」へのチャレンジの歴史
編集方針
目次

≡ CONTENTS

グループ2030年ビジョン



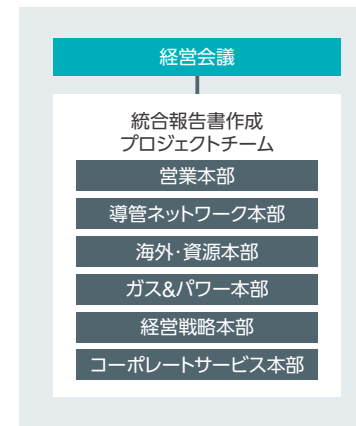
2050年カーボンニュートラルビジョン



サステナビリティ



制作体制



参考にしたガイドライン
国際統合報告フレームワーク[IFRS財団]
価値協創ガイダンス[経済産業省]

報告対象
範囲対象組織: 静岡ガス株式会社および
静岡ガスグループ会社

対象期間
2024年1月1日~2024年12月31日
※一部、対象期間外の活動内容も含まれます

見通しに関する注意事項
本報告書に記載されている将来の見通しに関する情報(業績予想、計画、戦略、方針など)は、作成時点における入手可能な情報や前提に基づいており、リスクや不確実性を含んでいます。実際の結果は、経済動向や事業環境の変化などにより、これらの見通しと大きく異なる可能性があります。将来情報については、あくまで参考情報としてご理解いただき、投資などの判断はご自身の責任において行っていただきますようお願いいたします。

発行にあたって

このたび、私たちは初めての統合報告書を発行いたしました。「グループ2030年ビジョン」の実現には、地域や社会の皆さまからの共感と信頼が欠かせません。そのためには、私たちが何を目指し、どのように歩んでいくのか——事業活動や価値観、そして私たち自身のあり方を、ステークホルダーの皆さまにお伝えし、対話を深めていくことが大切だと考えました。

本報告書は、そうした対話のきっかけとなる“エンゲージメントツール”として位置づけています。財務情報と非財務情報のつながりに目を向けながら、当社グループの強みや実行施策の背景にも触れ、少しでも理解が深まるよう心がけました。

制作にあたっては、複数の部署から社員が集まり、プロジェクトチームを構成。素案をまとめた後、社長をはじめとする経営陣との議論を重ね、全社の協力のもとで仕上げました。

本報告書をご覧いただき、皆さまからのご意見やご感想を、今後の企画や内容の充実に活かしていきたいと考えています。当社グループの今とこれからの、ぜひご注目ください。

静岡ガスグループ統合報告書

SHIZUOKA GAS GROUP REPORT 2025

編集方針

目次

01 INTRODUCTION | P01-07

- 01 Who We Are
- 02 グループ企業理念
- 03 静岡ガスグループの歴史とDNA
- 04 成長の軌跡
- 05 At a Glance
- 06 「初」へのチャレンジの歴史
- 07 編集方針

02 TOP MESSAGE | P09-14

03 SPECIAL FEATURE | P15

- 15 **特集** 米国シェールガス開発事業への参画について

04 HOW WE CREATE VALUE | P16-17

- 16 価値創造のプロセス

05 OUR VISION | P18-23

- 18 OUR VISION
- 19 事業環境分析
- 20 グループ2030年ビジョン
- 21 2030年までに目指す事業ポートフォリオと目標数値
- 22 2050年カーボンニュートラルビジョン

06 OUR STRATEGY | P24-59

- 24 OUR STRATEGY
- 25 中期経営計画
- 27 財務戦略
- 31 事業別戦略
 - 31 ガス・LPG事業
 - 33 電力・再エネ事業
 - 35 くらし・エンジニアリングサービス事業
 - 37 海外事業
 - 39 新たなチャレンジ(新規事業)
- 41 サステナビリティ戦略
 - 42 マテリアリティ
 - 44 TCFD
 - 47 地域社会への貢献
 - 50 人権尊重の取り組み
- 51 人材戦略
 - 52 人事担当役員メッセージ
 - 53 ① ビジョンに共感し、主体的にチャレンジするマインドを持った人づくり
 - 54 ② 社員の力を最大化する制度環境の整備
 - 57 ③ 事業改革に対応する人材ポートフォリオの構築
- 59 ブランド戦略

07 CORPORATE GOVERNANCE | P61-72

- 61 役員一覧
- 62 執行役員一覧
- 63 コーポレート・ガバナンス
- 66 社外取締役メッセージ
- 69 リスクマネジメント
- 70 コンプライアンス
- 71 主要財務・非財務データ
- 72 会社情報



01

INTRODUCTION

02

TOP MESSAGE

03

SPECIAL FEATURE

04

HOW WE CREATE VALUE

05

OUR VISION

06

OUR STRATEGY

07

CORPORATE GOVERNANCE

01

Who We Are

グループ企業理念

静岡ガスグループの歴史とDNA

成長の軌跡

At a Glance

「初」へのチャレンジの歴史

編集方針

目次

≡ CONTENTS

グループ2030年ビジョン



2050年カーボンニュートラルビジョン



サステナビリティ

